クレシェンス島の闘争３

～肛虐の乙女～

カッ
カッ カッ
ガチャ
んほほぉっ！
いいっ!!
ブルンッ
ブルッ
おチンポ
気持ちいいいいいっ!!
おっ！
おおぉっ!!
んひぃぃ
ポタッ

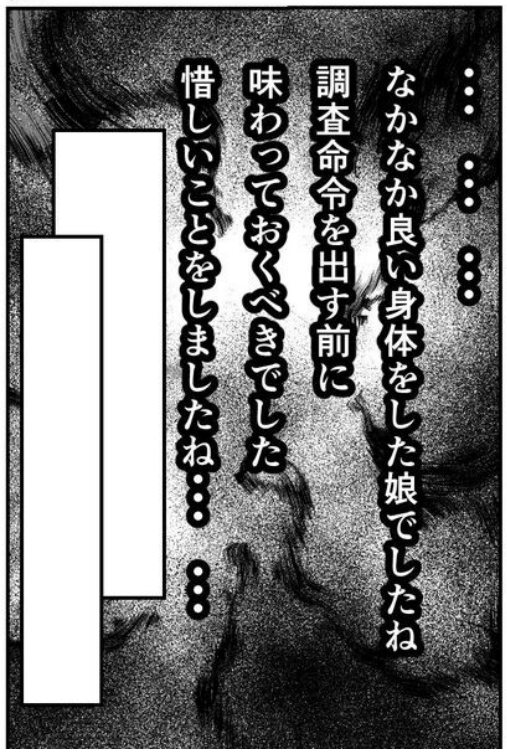
大隊長
いいひっ
あひっ
おおおう
あああぁ
パンッ
パンッ
パンッ
もっと
カッカッ
ペロ
ペチャッ
クチッ
大隊長、よろしいですか？
ホワ…
ふがっ？
ムン
ヌチ…
グチョッ
はっ
あっ♥
ペロッ
クチッ
ペチャ
あああ
おあっ
おっ
ベロッ
クチョッ
ん♥
んっ♥
んっちゅ♥
ペチョ
襲撃を受けた学府隊の件ですが・・・
把握されているとは思いますが
同隊3班副長名にて
救援隊の要請が来ています
・・・
お忙しい様ですので
コチラで選出しても
よろしいでしょうか？

・・・必要ありません
あっんっ
グイッ
ぬち・・・
は？
ゴシッ
ゴシッ
私が学府隊に出した指示は？
・・・
待機です

無視した上での被害なら
学府隊内で処理させなさい
下手な前例は
組織の隙になります

・・・
それはわかりますが
拉致されたのは
下がりなさい
・・・
・・・

・・・ラーロさん・・・
私・・・それ程
難しいことを言っていますかね？
ビクッ
・・・
いえ、失礼します


・・・・・・
なかなか良い身体をした娘でしたね
調査命令を出す前に
味わっておくべきでした
惜しいことをしましたね・・・・・・

政府統治外の島への
調査隊へ志願した学府隊は
虎の獣人と遭遇した

敗北したあやかは
凌○の限りを尽くされ
獣人の栖(すみか)へ攫(さら)われる

強制的な口内奉仕を強いられ
朦朧とするあやかの
尻穴へ獣人の指が迫る・・・

ちょっ、ちょっとっ
まだ、満足出来ないの？
そろそろ頃合いだがよく奉仕した従雌に報いるのも主の務めだからな
何言ってんの??
不浄の穴で嬲う趣味はないのだがな・・・
ムァ・・・
ヒクッ
ヒクッ
ムンッ
こうまで求められては応えない訳にはいかんだろう？
もっ、求めてないわよっ!!
どうしてお前はそうなのだ？
これだけ雌の臭いを放ちながらヒクつかせておいて何故素直になれない？
カラダが俺を求めているのは明白だろう？
ムァ
ヒク
ヒクッ
ヒァ・・・
・・・求めてないし臭ってもない・・・
皮肉で言ってる訳ではない・・・
拒み続ける雌を囲う嗜好はないからな
いつまでも口先だけで拒まず素直に俺を受け入れろ

初めっから
拒んでんでしょっ!!
ちょっとカラダが反応したからって
自分のモノみたいに言うんじゃないわよっ
グパァ・・・
もう一度だけ奉仕しろ
その間コチラを愛撫してやる
ぐうぅ～っ!
俺が達するまで
お前が耐えられれば・
・・・解放しよう
!
・・・約束よ・・・
そこまで拒む雌に
執着するつもりも無いからな
簡単なことだろう?
そこまで固い意志があるなら
よもや不浄の穴で気をやるような
ことはない筈だ
バタッ!
バタッ!
グイッ!
お前の為でもあるのだがな・・・
いいだろう・・・
これが最後だ
くっ!
・・・また口でするの?・・・

大丈夫…
口でならすぐイカせられる
問題なのはコイツが
約束を守るかどうかね？
…ん、くぅ♥
まぁ、良いわ
さっさとイかせて
後のことは
その時、考えよう
ムァ…
ムン
グリグリッ
んっ
あっ
いいっ
んひっ！
ズブッ
ズンッ
あっ♥
ふうぅぅ…
んっ…指、♥
きもちいっ…
ムァッ
グププ…
キュッ♥
ヒクッ

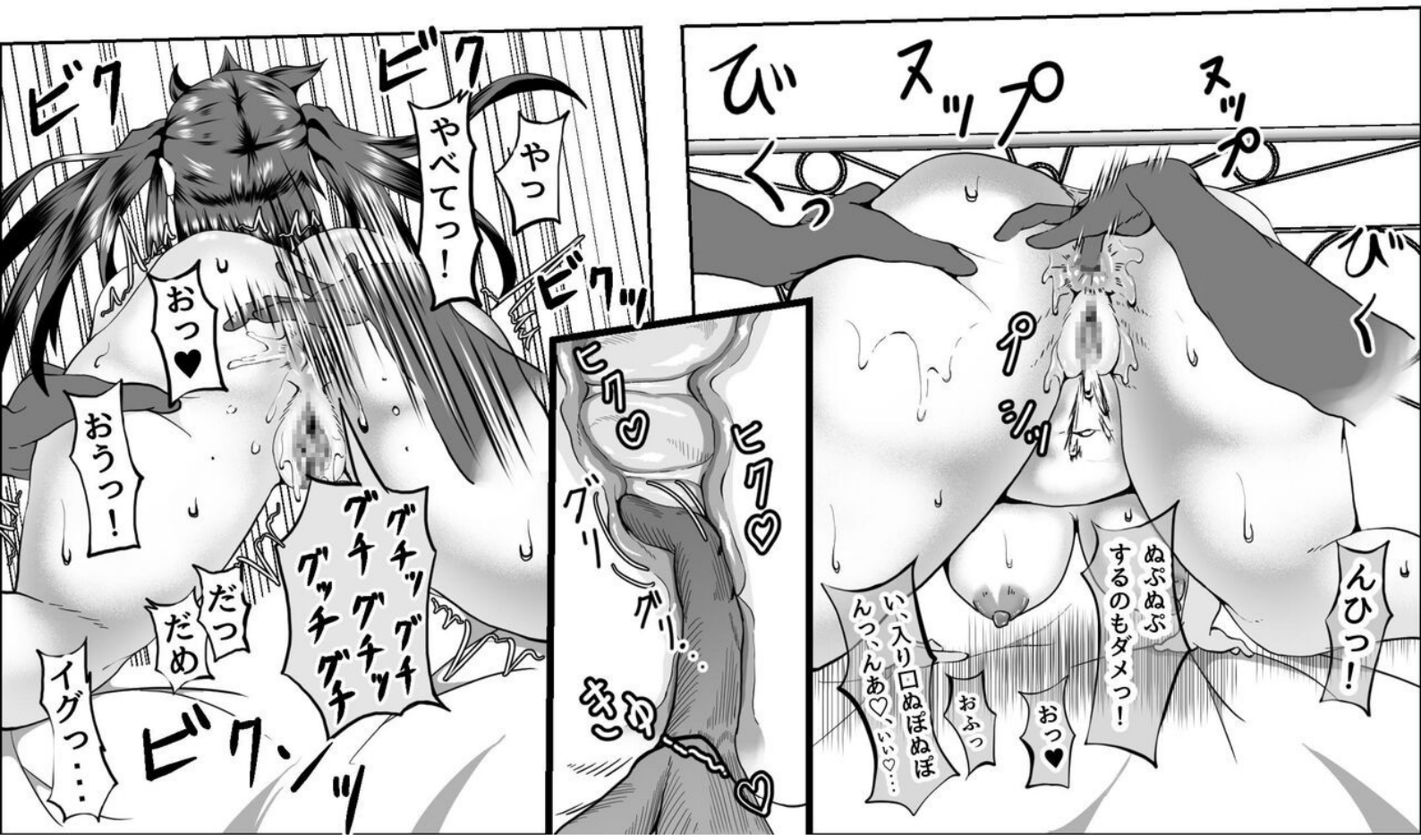
あっ？
かはっ！
ビクッ
ビクンッ
お、思ってた以上に感度あがってるっ！
ひっ
くっ！
う、うそっ！
だめっ！！
ううううっ
抑えられないっ!!
やっ、やだ…
きちゃうっ！
びくっ
びくっ
キュ
キュッ♥
くっ！
イっ…!!
びくっ
びくっ

■■■
指を入れただけで達するとは・・・
んっ
びくっ
んあっ
びくんっ
呆れる程の浅ましさだな・・・
ヒク
ムソ・・・
ムソッ
ヒクッ
ぬぽ・・・
もわ
ぐしょ・・・
・・・
主の顔に潮を浴びせておいて・・・
もう少しましな言い訳は出来ないものなのか？
・・・
ちょ、ちょっと・・・
ビックリしただけよ・・・
バッ
むあ・・・
とろ
カァァ・・・
・・・
ギュッ
・・・何？
・・・・・や
・・・まぁ、良い
どうあれ、お前が先に達したのだ
今後は俺を受け入れ
素直に従うことだな
嫌だって言ってんのよっ！

…
お前が耐えれば
俺は本当に解放する
つもりだったのだがな
今更
反故にしようとするのは
どうなのだ？
ちょ、ちょっと、
お、おっ、おしりで
イったからって
私はアンタに
従ったりしないっ！
ムソ…
パク
ムソ…
パク
ドロ…
…
話がずれてきていると
思うのだがな？
良いだろう
お前がそのつもりなら
続けようか？
んんっ
ギュムッ
ヒクッ
ここまで淫らな穴なのだ
攻め続けられれば
いつまでも同じ台詞は吐けんだろう？
…
それとも、その有様で
達していないと
言い張るつもりか？
びくっ
…
……べ、別に
イッちゃだめって
言われてない…
びくっ
じゅくっ
プル～プル
プル
プル
ムア…
…何だと？
何度でも言ってやるわよっ
私はっ、アンタなんかにっ！
従わないっ!!

ッ!!!!
ぎゃっ
びくっ
ぐぶっ
ぽこぽこ
ビクッ
ビクッ
ぶるっ

お
ムア…
ムン…
おっ♥
ムンッ
ヒク
ぐち
ヒク
ふふっ
さっきまでの威勢はどうした？
ぬぷ
グニ
グニ
んひっ！
なっ、中っ！
動かさないでっ!!
だ、だめ…
抑えられない…
んっ
んおっ♡
ずっと、してなかったから…
少し…弄られただけで
おしり…スッゴク喜んじゃってる…


びくっ
ヌッ
ヌッ
ピンッ
んひっ！
ぬぷぬぷ
するのもダメっ！
おっ♥
おふっ
い、入り口ぬぽぬぽ
んっ、んあ♡、いい♡…
ヒク♡
グリ
グリ…
きゅ♡
ビクッ
やっ
やべてっ！
おっ♥
おうっ！
グチッグチ
グチグチッ
グッチグチ
だっ
だめ
イグっ…
ビクンッ

イぐッ
びくっ
ぷ。
しゃっ
びく
イぐうっ
びく
びく
んあっ♥
ぬぷん
むぉ..
クパァ..
ムン
ムア..
ぬる
ビュッ
プル
プル
他愛もない・・・
ムン..
ムア..
ヒク
ヒク
あっ・・・
あ、ダメ・・・出ちゃう・・・
チョロロ・・・
むぁ..
クパ。。
むん
じょおおお・・・
もあ..
もあ..
むん..
やっ、あ・・・
ちから・・・入らない・・・
と、止められない・・・

・・・
ひとのベッドに・・・
・・・やりたい放題だな・・・
ヒク
ヒク
ちょろろ・・・
もあ・・・
もあああ・・・
ぐしょ・・・
お♥
おっ♥
んひっ
びくっ
びくっ
ぱあ・・・
ムン
おほっ♡
おっ♡
ムン
モア・・・
あ♡
おっ♡
おくっ♡

どうだ…？
少しは素直になれそうか？
スリ…
うぅぅぅ…
フィッ
ククッ…
どこまでも
楽しませてくれる
グイッ
うっ
うぅぅ…
んあっ♥
びくっ
あっ
んんっ♥
スリスリ…
んあっ！
も…
やめっ
ぐぷぷぷ…

んんっ!!
ひく
ひく
ぐむ…
お…おしり
これ以上…広げ…ないで
や…あ…
んっ…あっ!
ズプッ
んひっ♥!!
ビクンッ

んぎっ！
ぶしっ
グチ グチ
グチ グチ グチ
グチ グチ グチ グチ
グチ グチ…
だっ、だめっ！
どめでっ
イイっ！
やっ！、
やべっ、
やべてっ！
イってるっ!!
ブンッ
ブンッ
イってるのにっ！
またくるっ!!
ビクッ ビクンッ
おじりっ…アナルっっ！
またイっぐぅぅぅツツ!!!
イってるからっ!!
プシ
プシ
グチッ グチッ グチ…
むん…
ぐぱぁ…
むあ…
随分と楽しんでいるようだが
お前からもしなければ
いつまでも終わらんぞ

はぁ
はぁ
ギュッ
クックッ
精々励め
ア、アンタの弱いトコなんか
全部わかってるんだから・・・
ギュッ
す、すぐに終わらせるわ
ちょ、ちょっ！
中っ、グニグニやめてっ!!
ビクッ
グニ
グニ
ビクッ
・・・それでは
勝負にならんだろう？
グチッ
グチッ
ダ・・・ダメ
おしりの刺激が強すぎて
集中できない
んっ
おっ
おっ！
はぁ・・・チ、チンポ・・・くさい・・・
チンポ臭と・・・わ、わたしの・・・
に、においが混じって・・・
クラクラする・・・
ふ
ふ
ふ
ふ
においと刺激で
頭おかしくなりそう・・・

チンポ…
棘つき極太チンポ
…ほ、欲しい♥
ふっ♡
ふっ♡
ああ…違う
さっさとイカせて
終わらせなきゃ…
ビクッ
なっ、何？
んひっ!!
グイッ
そのつもりは
無かったのだがな…
だっ
だから何？
コチラを使わせてもらおうか？
なっ！
おわぁ…
ぐにっ
はっ、
話が違うじゃないっ！
クックッ…
お前はもう喋るな
俺を求めて
雌の臭いを振り撒きながら
卑しく指に吸い付いてくる
んっ
ひくっ♥
ひくっ♥
んあっ
コチラの口の方が
余程素直だ
お前の臭いに当てられて
俺も限界なんでな

ズニッ!!
拒みたいのなら
口先だけでなく、全力で抵抗しろ
どうした？
これだけだらしなく口を開いていては
入ってしまうぞ
ぐっ
う…
うう…
ぬぷ
ぬぷっ
んあっ♥
んっ

きゅっ♡
きゅっ♡
ぬぷぷぷ・・・
ん!
んっ!!
だ・・・
だめっ・・・
お・・・おしり・・・
力入れてるのに・・・
全然・・・締まらない
チンポ・・・
入ってきちゃう
んぎぃっ!!

ぐづ!!
ミチッ
ミチ
ビクッ
ビクッ
ぐづ!!
ブッ!
ギッ
ビッ
グチ!
ガっ
ギチッ!!
あがっ
もう分かっているだろうが俺のモノは抜く方が刺激が強い
加減をするつもりはないから簡単に壊れるなよ

ずるる…
ガリッ
ガリッ
あっ！
あひっ!!
お尻の中…トゲトゲで引っ掛かれて…
信じられないくらい…きもちいいっ!!
ズボッ
んひっ!!
ズリッ
むぐっ!!

ズチュ
ちょっ…まっ！…
激し過ぎっ！
ズチュ
ズチュ
苦しっ!!…
ぶっ!!
づぶっ!!
ズチュッ
ズチュ
ぶるん
ズチュッ
ぐ…ぐるじいいっ!!
お…お願い…もう…やめてっ！
バンッ
バンッ
も…限界っ!!…
ズンッ
んぐづ！
うづづ!!
グチュッ
ドチュッ
こ…アナル(こっち)だと
衝撃が直接おなかにっ!!…
ぶっ!!
ヴェッ！
ゲェェェッ!!
ビクン
ビグッ
ビクッ

あ…あたまの…なか
ぐちゃぐちゃ…
も…いいよね？…
こんなに…ガマン…したんだから…
ちょっとくらい…きもちよくなったって
ゆるして…くれる……よね？…
はぁ
はぁ
ぎゅっ
はぁ
アナルっ…き、きもちいい…
スリスリ
アナル…
ケっ、ケツぅ…
ケツまんこっ！
も、もっと…もっとほじってぇぇっ!!
ずちゅ
ずちゅっ
クックッ
ぎゅ～～♡
ずるる…
不浄の穴で
これ程乱れるとは…
おっ♥
おっ♥！
おうっ♥
ふわ♡
ズンッ
最早言い訳は聞かんぞ…
お前は俺のモノだ
クックッ
んほっ♥!!

ビクッ
おほぉっ!!
抜けるぅぅぅ〜
むちゅっ♡
ズズズ
ちゅっ♡
極太棘チンポっ!
ケツまんこ肉
引っ掻きながら抜けるぅっ!!♥
ビクッ
ゆるん♡
挿入る時は、難無く
最奥まで入る程
緩んでいる…
どれだけ躾られれば
こうなるのだ?
ひくっ♥
ひくっ♥
ズンッ
んぃぃぃっ!!
抜く時は痛い程
強く締め付け…
おっ!
ぎゅっ♥
おっ♥!!
ぎゅ♥
あひっ♥!
太いい…♥
深いいいっ!!♥♥
今まで一回も
チンポ入ったことない
トコまで来てるっ
誰のチンポも触ってないトコ
こすられちゃってるぅっ〜♥
ミチッ
ミチ
ゴリ
ゴリ

んっ！
随分と使い込まれているようだが…
おっ！
それ程までにコチラが好きか？
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
好きっ！
好きなのっっ!!
ケツ穴せっくすうぅっっ!!♥
おっほっ！熱いっケツ穴焼けるっ
このチンポ凄すぎるうぅっっ♥
どれだけ速度や角度を変えても締緩に無駄が無い…
悍ましい程に仕込まれている…
…
…
…
許し難いな…
クッ
クッ
…馬鹿な…
今の情は…
…嫉妬に近い
…ありえん…
…たかだか人の雌だぞ…
…だが…
お前…名は？
んへっ??
聞いた気もするがさして興味も無かったのでな…
名は何という？
…んぉぅ♥
な？…まえ??
…あっ？…右、だっ…あ、綾誇…
…アヤカか…

お前が…
或いは…
俺が死ぬまで
お前の主は俺だ
解ったな？
アヤカ
ツッ！
そ、れって…
むぐっ！
ぬるんっ
んっ
んあっ♥
んへぇ♥
ペロ♥
ぺちゃ
ぬっぷっ
ぬっぷっ
ぐんっ♡
ぐんっ♡
ぐんっ♡
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅる♥
れろ♥
出すぞ…
アヤカ
きっ、きてっ！
私もイクっ！一緒にっ
一緒にイクからっ!!
いっ、一番奥でっ！
ケツまんこの一番深いトコっで！
ズンッ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ぬぷっ
ズンッ
あやかのケツ穴に
チンポでっ！チンポ汁でっ!!
ザーメン浣腸してぇぇっっっ!!!♥

イックゥ
むぁ
むん
ビヘーッ
オシャ
ビクンッ
ビュルルッ
ビュッ
もあ
ぷりゅりゅっ
ぷりゅりゅりゅ…
ヌルン
ぽかぁん
ちょろろ

んっ♥
ビクッッ
ムオ
ムア
んっ♥
ぶびっ
ぶびびっ
ビクッッ
んぁ…
んっ
んぅん♥
スリ…
…
お前はいつまで
そこに居るつもりだ？
……
ガチャ

…… 取り込み中の様だったので気を使ったつもりですが？
ガッ
ガるっ
なら黙って消えろっ!?
スパッ
To be continued…